



# 学校だより



2021年1月29日  
横浜市立港南台第一小学校

2月号

Email y3konan1@edu.city.yokohama.jp

Tel 832-0210

Fax 832-7771

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kohnandai1/>

## 『まちの力をまちのたねに』

副校長 和田 みずほ

大寒を過ぎ、1年で一番寒い時期を迎えています。朝の「おはようございます。」という元気な声も白い息に包まれています。けれども、もうすぐ、立春。暦の上では春となり、令和2年度のまとめの季節が始まります。今年度も、保護者の皆様、地域の皆様から多くのご支援ご協力をいただきました。予測の難しい状況の続く中、連絡を取り合い児童のために活動して下さった PTA 役員の皆様、一人一役仕事を引き受けて下さった保護者の皆様、朝早くから児童の登下校を見守って下さった見守り隊・学援隊の皆様、ボランティアの調整をして下さった地域コーディネーターさん、校門付近の花の手入れをして下さったみどりのボランティアの皆様、活動の在り方を検討して下さった読み聞かせボランティアの皆様、図書室ボランティア、生活・学習サポートボランティア、パクパクボランティア、おやじの会の皆様、多くの方々がお忙しい中、ご自分の貴重な時間をさいて児童のためにお力を寄せてくださいました。とても心強く思いました。ありがとうございます。



日野原重明さんというお医者様が書かれた『明日をつくる十歳のきみへ』という本が図書室にあります。この本の中で「自分のためではなく、だれか人のために自分の時間を使うことこそが、その人が本当に生きていることになります。」と書かれています。今年度、様々な形で本校にお力をいただいた皆様のお姿からこの本のことを思い出しました。

昨年末、5年生が見守り隊・学援隊の皆様にご感謝の気持ちをこめて、花の苗をお届けしました。「子どもたちはまちの宝だからね。」「自分の孫のように成長を楽しみにしているよ。」「あんなに小さかった子が中学生になって頼もしくなっている姿を見るのが嬉しいんだ。」等、温かいお話をいただきました。児童が、自分たちのために時間を提供して下さっている多くの方々の存在に気づき、感謝の気持ちを持ち、心豊かに成長するよう育てていきたいと思っております。





## 港南台第一小学校 重点研究テーマ

「育てよう!表現力・高めよう!言語能力」

～主体的・対話的で深い学びの実現へ向けて～



本校では、昨年度から上記の研究主題を設定し、国語科の授業を研究しています。授業の様子を教員同士で見合い意見を交わしたり、講師を招いて授業の改善点を指摘していただいたりして、授業力の向上を目指しています。

今年度は、このような状況下ですが、「思いや考えをもち、伝え合う」子どもの姿を追い求め、子どもの具体の姿を大切にして研究を進めてきました。

### 6年生 「クラスの友達と読書会をして、自分の考えを伝え合おう」～海の命～ 授業の様子

読書会では、互いの考えを伝え合い、それらと比較したり、関連付けたりすることで、自分の考えを広げたり深めたりすることができました。これまでの気づきや考えを、友達と伝え合う楽しさも感じることができました。

一つの作品から読み取ったことだけでなく、同じメッセージを感じることで別の作品を読んで関連付けて、作品のメッセージに対する自分の考えを深め、友達と考えを交流することで、読む力も身に付けることができました。

### 一小 ほっとスペース ～児童支援専任からのお知らせ～



学援隊のみなさんが、児童の登下校を毎日あたたかく見守ってくださっています。交通事故が起こらないように、暑い日も寒い日も、子どもたちの安全のために休まずに活動してくださっています。学援隊のみなさんにあいさつをし、「ありがとうございます」などの感謝の気持ちを伝えている児童もいます。

しかし、横断歩道でふざける児童がいるのも事実です。信号が変わったとたんに走り出す児童や友達とふざけながら歩いている児童もいて、学援隊の皆さんが子どもたちの安全をとっても心配しています。

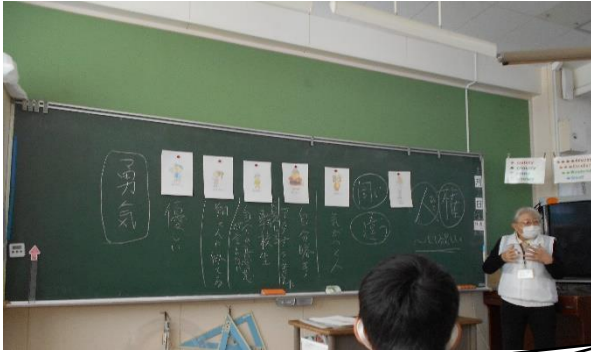
ご家庭でも一度、登下校時の約束について話題にあげて、話をしてみてください。

そして、学援隊のみなさんに「おはようございます」「さようなら」といったあいさつがしっかりとできる児童がさらに増えていってほしいと思っています。

## 人権教育 人権キャラバンを実施しました



本校では、人権教育テーマ「誰もが、安心して、豊かに生活できる」を視点に、すべての子供が自尊感情をもち、高められるような取り組みを進めています。今年度も、人権教育の一環として命の尊さや思いやりの心などの人権意識を養うことを目的として、人権擁護委員会から委員の方が数名来てくださり、児童に直接語りかける「人権キャラバン」を人権週間に合わせて実施しました。



### 5年『勇気のお守り』

勇気を出して自分の思いを伝えること、その人を決めつけずよさを見ていくこと、自分も相手も大切にすることを学びました。



それぞれのクラスでふりかえりを行いました。子どもたちが感じたことや話を通して考えたことをまとめ、昇降口前の廊下に貼りました。廊下を通った時に立ち止まり、友達が書いた文を読んでいる児童が、多く見られました。大人の話だけではなく、友達の考えや感じ方を学ぶ良い機会になりました。



### 低学年のふりかえりより

- ・友だちをいじめたら友だちが嫌な気持ちになるから、してはいけないと思った。
- ・自分のいやな気持ちを、人にぶついたらだめだと思った。
- ・今も相手の気持ちを大切にしているけど、もっと大切にしようと思った。

### 中学年のふりかえりより

- ・けんかをした時には、自分のどこがいけなかったかをしっかりと考えて謝りたい。自分と違う考えの人もいることを思える大人になりたい。
- ・いやだなど思うことは、先生やお母さんに言うことが大事だと思った。
- ・いじめにあう人がいたら助けたい。

### 高学年のふりかえりより

- ・誰にでも平等な権利があり、人のことを考えながら生きていくことが大切だと分かった。
- ・人権キャラバンを通して改めて「勇気」を学んだ。
- ・自分の意見を持ち、相手の気持ちを考えて行動することを学んだ。